禁転載複製

「中央職業能力開発協会編」

令和８年度 前期 ビジネス・キャリア検定試験

ロジスティクス分野

２級　ロジスティクス管理

試　験　問　題

（14 ページ）

１．試験時間　110 分

２．注意事項

（１）　試験問題は、係員の指示があるまで開かないでください。

（２）　表紙に記載されている試験区分名が、申請している試験区分名と同じか確認してください。申請している試験区分と異なる試験区分を受験した場合は採点できず、不合格となりますので、ご注意ください。なお、試験開始後に申し出られても、試験時間の延長はできません。

（３）　試験問題は、40題あります。

（４）　試験問題の配点及び合格基準は、次のとおりです。

（配　　点）問題１～問題40　　各2.5点　　合計100点

（合格基準）試験全体として概ね60％以上の正答。

（５）　関係法令、会計基準、ＪＩＳ等の各種規格等に基づく出題については、問題文中に断りがある場合を除き、令和８年５月１日時点で施行されている内容に基づくものとします。

（６）　マークシートにマークする際には、ＨＢ又はＢの黒鉛筆で、はっきりとマークしてください。それ以外は使用しないでください。なお、訂正する場合は、採点の際にマークシートの誤読の原因となることがありますので、きれいに消してください。

（７）　計算等が必要な場合は、問題用紙の余白を使用してください。

（８）　問題番号及び問題文に従って正解と思われるものを１つだけ選んで間違えないようにマークしてください。

（９）　試験問題の内容に関する質問には、一切お答えできません。

(10)　試験中にトイレへ行きたくなった場合は、黙って手を挙げて係員の指示に従ってください。

(11)　試験終了時刻前に解答が済み、退出する場合は、黙って手を挙げて係員の指示に従ってください。ただし、試験開始後30分間及び終了前10分間は、退出できません。なお、退出する場合は、周りの受験者に配慮して、静かに退出してください。

(12)　試験終了の合図があったら速やかに筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。

(13)　試験終了後、マークシートを必ず提出してください。ただし、試験問題は、持ち帰ることができます。なお、マークシートが提出されていない場合は、失格となります。

(14)　カンニング行為（他の受験者の答案等を見ること・他の受験者に答えを教えること・他者から答えを教わること・指定されたもの以外のものを机上に置くこと等）、替え玉受験、不正行為と疑われるような紛らわしい態度をとる行為、他の受験者の迷惑となる行為、係員の指示に従わない場合などは、不正行為とみなされます。不正行為とみなされた場合は、直ちに退場となり、当該期に受験する試験区分のすべてが失格となります。

(15)　試験問題の転載、複製などを固く禁じます。

禁転載複製

問題１　ロジスティクスと物流に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

ア．ロジスティクスは、在庫管理と物流を対象にする。
イ．物流とは、物の空間的な移動のことである。
ウ．物流という言葉は、軍事用語の兵站という用語とその意味をビジネスの世界に適用したものである。
エ．ロジスティクスとは、商品や物資の輸送や保管を顧客の要求に関わらず、効率的かつ効果的に計画・実施・管理することである。
オ．ロジスティクスは近年多様になり、目的や内容に応じて、サステナブル・ロジスティクスやソーシャル・ロジスティクスなども登場している。

問題２　企業経営とロジスティクスとの関連に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

ア．ロジスティクスによる顧客サービスの向上は、顧客満足の実現により、企業経営上の売上げや取引高の増加につながる。
イ．企業経営におけるロジスティクス管理では、物流コストの削減が最優先である。
ウ．製造業や流通業における製品・商品の在庫の滞留は、その間、資金が固定化されることから、企業経営に大きな影響を与える。
エ．ロジスティクスにおける安全・安心やコンプライアンス（法令遵守、企業倫理や社会貢献など）は、企業価値を向上させ、企業の成長性を高める。
オ．物流拠点の集約・統合や売却等は、固定資産の削減によりＲＯＡ（総資産利益率）の向上につながる。

問題３　ロジスティクス戦略の立案や管理に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

ア．ロジスティクス戦略は、経営戦略、マーケティング戦略等とは独立して立案する。
イ．ロジスティクス戦略に基づき、その達成に向けて行うべき施策と数年後に到達すべき目標数値（中期目標）を設定する。
ウ．中期目標を達成するための施策の実施スケジュールと、進捗状況を確認するために年度や四半期ごとの目標数値を決め、これに伴う実行予算を立てる。
エ．策定された中期計画の達成に向け、社内関連部署、取引先等との調整を行う。
オ．策定された中期計画に基づき、年度毎や四半期単位での実行状況を把握・評価し、問題点を抽出して対策を立てる。

禁転載複製

問題４　物流における環境問題に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

ア．我が国のCO_2排出量のうち、運輸部門は全体の約35％を占めている。
イ．10トンの貨物を1,000km輸送する場合の輸送トンキロ当たりCO_2排出量は、一度に大量の貨物を運べる船舶の方が、鉄道よりも少ない。
ウ．貨物輸送部門におけるCO_2排出量は、2010年代まで増加傾向にあった。
エ．ハイブリッド車、ＬＮＧ車、ＬＰＧ車、ＥＶなどの低公害車のうち、走行時にCO_2を排出しないのは、ＥＶである。
オ．ドライブレコーダーは、燃料の使用量を測定できるので、省エネ運転に役立つ。

問題５　輸送の低炭素化に向けた施策に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

ア．「グリーン経営認証」は、環境保全を目的にした取組を行っている荷主企業を対象とした認証制度である。
イ．コンビニエンスストアなどフランチャイズ展開している法人は、個々の加盟店が小規模のため、省エネ法（エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律）で定める特定荷主には該当しない。
ウ．「エコレールマーク」は、鉄道貨物輸送を一定割合（量）以上利用している商品や企業を認定するものである。
エ．自動車NO_X・ＰＭ法（自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法）は、自動車単体への規制（メーカー段階）を設けるために制定された法律である。
オ．地方自治体が独自に制定する環境関連の条例内での基準値は、国の規制値より厳しくできない。

問題６　リサイクル・廃棄物に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

ア．リサイクル法（資源の有効な利用の促進に関する法律）は、特定の業種や製品を対象として、事業者に対して３Ｒ（リデュース・リユース・リサイクル）の取組を求めている。
イ．従来の生産者責任は汚染者負担の原則であったが、1990年代以降、拡大生産者責任の原則が主流となっている。
ウ．廃棄物は、産業廃棄物と一般廃棄物に分類される。
エ．産業廃棄物を排出する事業者は、収集運搬事業者に廃棄物を引き渡す度に、産業廃棄物管理票（マニフェスト）を交付する必要がある。
オ．産業廃棄物を排出する事業者は、収集運搬事業者に廃棄物を引き渡した後の確認管理の責務はない。

禁転載複製

問題７　物流業界の労働力不足に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

ア．貨物自動車運送事業法では、トラックドライバー不足に対応するため、荷待ち時間の短縮などの荷主の配慮義務が定められている。
イ．トラックドライバー不足対策として、特定技能の在留資格がある外国人を雇用することが可能になった。
ウ．内航海運の船員不足対策として、トラックドライバーと同様に外国人船員が増えている。
エ．空港の地上業務（グランドハンドリング）の労働力不足対策として、貨物運搬用トラクタの自動運転などが進められている。
オ．国土交通省では、物流業界の労働力不足に対応するため、物流ＤＸによる自動化・機械化を推進している。

問題８　我が国の物流政策と関係法令に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

ア．物流効率化法（物資の流通の効率化に関する法律）では、複数企業でのモーダルシフトの取組や、物流センターにおけるトラック予約受付システム導入も効率化計画の認定対象となっている。
イ．バスやタクシーが貨物を運ぶ場合には、道路運送法が定める旅客自動車運送事業の免許があればよい。
ウ．ＡＥＯ制度の導入や保税搬入制度の緩和など輸出入手続の簡素化、港湾物流の効率化は、関税法の改正により進展した。
エ．我が国の物流政策の基本方針である総合物流施策大綱（2026年度～2030年度）は、閣議決定であって法律ではない。
オ．自動車運転者の労働時間の改善のための基準（改善基準）は、労働基準法で定める労働時間（本則）の特例として告示されている。

問題９　欧州における物流政策及び輸送実態に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

ア．欧州の外航海運では、船舶の運航船腹量（トン数）を基準として法人税額を決定する、トン数標準税制の導入が進んでいる。
イ．欧州では、道路の維持管理、環境問題への対応等のため、大型貨物車を対象とした対距離課金を実施する国が増えてきている。
ウ．ロンドンやストックホルムでは、都市内に流入する車両から料金を徴収するロードプライシングを導入し、都市内の交通量の削減を通じた生活環境の向上を図っている。
エ．欧州全域にわたる交通ネットワークの構築を目指すＴＥＮ－Ｔ（The Trans-European Transport Network）に指定された優先プロジェクトは、ＥＵから補助を受けられる。
オ．欧州では、ＩＳＯ規格国際貨物コンテナを２段積みしたダブルスタックトレインを利用した輸送が多く行われている。

禁転載複製

問題10　物流活動におけるリスクに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

ア．物流活動における損害の種類の一つに、商品、輸送機関、倉庫建屋、設備機器などの物的損害がある。
イ．物流活動における人的損害の例として、従業員の死傷などがある。
ウ．物流活動が受ける損害は、損害保険によってカバーされるものが多い。
エ．物流活動に起因する操業停止・休業などの収益損失の損害は、物流活動が受ける損害には含まれない。
オ．荷主企業や物流事業者は、物流活動におけるリスクを発生させない工夫や、リスク発生時の早期操業再開のための事前の検討などを行う必要がある。

問題11　納期遵守率が低い場合の問題となる工程の特定に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

ア．納期遵守率が低い場合は、受注以降の物流センター内作業又は輸送のいずれかに問題がある。
イ．荷揃え締め時間が守られているにもかかわらず、納期遵守率が低い場合には、輸送に問題がある。
ウ．受注締め時間が守られているにもかかわらず、荷揃え締め時間が守られていない場合には、物流センターの作業に問題がある。
エ．輸送に問題があると特定された場合には、輸送経路選定や配送・配車計画等に原因がある。
オ．物流センターの作業に問題があると特定された場合には、物流センターの個々の作業の計画や運用に問題がある。

問題12　ロジスティクス監査に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

ア．ロジスティクス監査は、公平を期すために外部の第三者により行われる。
イ．監査チームは、コンプライアンスについて、社員及び委託先への教育を行う。
ウ．ロジスティクス監査では、顧客サービスの評価を行い、顧客サービスを悪化させているプロセスや業務手順についての指摘は行わない。
エ．ロジスティクス監査では、コストや資産上の問題点についての指摘は行わない。
オ．物流業務を受託する企業は、委託元企業から、内部統制の設計及び運用の有効性評価の報告書を求められることがある。

禁転載複製

問題13　通信販売におけるサービスのうち、物流サービスではないものは、次のうちどれか。

ア．追加料金を払えば、受注当日に配送する。
イ．物流センターで衣料品のサイズ直し業務を行う。
ウ．複数回の注文でも１回で受け取れるように物流センターで同梱を行う。
エ．コンビニ店舗や宅配ロッカーでも商品を受け取ることができる。
オ．過去の購買履歴を元に商品を推奨（リコメンド）する。

問題14　顧客への物流サービスの実態調査方法に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

ア．顧客と接する度に情報を収集し、記録を蓄積する方法では、得られる情報が体系的にはならない。
イ．調査票を顧客に自宅で記入・返送してもらう方法は、顧客が都合の良い時間に記入できるというメリットがある。
ウ．調査員が顧客を訪問して質問するインタビュー法では、焦点を絞った情報は得られない。
エ．ネット通販等では、宅配サービスの評価を、購入者からインターネットで収集する方法が増えている。
オ．調査員が顧客に電話で質問する方法は、一般に調査時間は短くせざるを得ない。

問題15　物流品質の管理に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

ア．物流品質は作業者の習熟度等によってばらつくので、作業者教育が重要である。
イ．品質に関する人的エラーを防止するためのフェイル・セーフは、人間が誤った操作をしても機械が作動しない仕組みである。
ウ．物流品質管理の小集団活動は、物流センターのパートタイム労働者も参画して行われている。
エ．ISO9000シリーズは品質管理に関する国際規格であり、物流分野でも取り入れられている。
オ．経営トップは、物流品質の管理に関する方針を決定し、目標を設定する必要がある。

禁転載複製

問題16　新たな物流センターを設けた場合の物流システム開発に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

ア．新物流センターのレイアウト設計や作業マニュアルは、円滑稼働の重要なポイントとなるため、プロジェクトマネジャーが作成する。
イ．物流システムを新たに開発する場合、現状の業務やシステムにとらわれると業務改善が進みづらいため、現状調査や確認は新システムの業務フロー確定後に実施する。
ウ．新物流センター稼働時に作業を滞りなく進めるためには、作業員の習熟度を高める研修よりも、作業リーダーが業務全体の流れや作業内容を把握する研修を先行させる。
エ．新物流センター稼働後に発覚したシステムのバグについては、発覚する都度修正していく必要がある。
オ．新物流センターへの移転は短時間で行うことになるため、移転元での出荷検品の精度を高め、移転先の入荷をノー検品とすることが多い。

問題17　荷主企業における委託先の選定並びに管理に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

ア．委託先選定に際しては、複数の企業から「同一のＲＦＰ（提案仕様書もしくは提案依頼書)」に基づく提案を求める入札制を採用する場合が多い。
イ．委託先と当初締結した契約内容と異なる状況が発生した場合でも、契約期間中は、契約書どおりの運営を遵守しなければならない。
ウ．荷主と委託先とが協議の上、共通の管理指標を設定・追跡することで、課題の早期発見や改善対策の有効性を判断する基準となり得る。
エ．委託先は、物量波動に伴い他の物流業者に再委託しなければならないことを想定し、荷主との間で事前に再委託先候補業者の合意に至っていることが望ましい。
オ．荷主と委託先とは、定期的に改善会議を開き、課題の確認、改善に向けてのお互いの役割、その進捗管理を確認することが必要である。

問題18　物流センターにおいて、人手によるピッキング作業の効率向上のための一般的な取組として不適切なものは、次のうちどれか。

ア．同時に出荷される頻度が高い商品を、極力、近隣に配置する。
イ．出荷頻度の高い商品を、入出荷作業場の出入り口付近に配置する。
ウ．出荷頻度の低い商品の保管場所を、移動ラックから固定ラックに変更する。
エ．通路は、追い越すことも考慮して通路幅を確保する。
オ．デジタルピッキングやカートピッキングを導入する。

禁転載複製

問題19　以下に示す＜事例＞を踏まえた場合、課題の改善案として最も不適切なものは、次のうちどれか。

＜事例＞

自動車部品メーカーＡ社の工場は、納品トラックの待機時間、それによる渋滞、環境の悪化といった課題を抱えており、サプライヤーの担当者を交えて、改善に向けた意見交換を行ったところ、以下の５案が出てきた。

ア．現在の荷受バースでの荷降ろしから、ドライバーによる複数の生産ラインへの納入方式へ変更する。
イ．これまで納品は午前中のみとしていたのを、サプライヤーごとに午後も含めた納品時間帯を指定し、併せて、受入作業の改善を図る。
ウ．各サプライヤーによる納品からＡ社が集荷する方式に変更し、各社には所定時間までに貨物を並べて準備するように依頼する。
エ．工場への納品指定運送会社を選定し、工場近接の倉庫へいったん商品を納め、ライン投入時刻に合わせて一括して指定運送会社が工場へ調達品を届けるようにする。
オ．ＡＳＮを導入して入荷検品時間の短縮を図る。

問題20　ＭＲＰ（資材所要量計画）に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

ア．ＭＲＰは、製造に必要となる部品や原材料について、最も低コストとなるように購買するための手配計画である。
イ．ＭＲＰは、不定期定量補充方式の運用方法の一つである。
ウ．ＭＲＰでは、部品や原材料の総所要量からロスや現在庫量（オーダー済み未入庫・手持ち在庫）などを考慮した正味所要量を計算し、さらに調達ロットや調達リードタイムを考慮して、最終的な発注時期や発注量を立案する。
エ．仕掛品製造に必要となる部品や原材料の手配計画については、仕掛品を対象としたＭＲＰを別途実施する必要がある。
オ．ＭＲＰにより調達計画を策定するためには、正確な部品マスターと製造指示が特に大切となる。

問題21　様々な製品・商品の適正な在庫管理に関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。

ア．部品を組み立てて最終製品として出荷するコンピュータ製品の場合、部品在庫は最小限として、出来るだけ最終製品として在庫を持つ。
イ．季節商品のアパレル製品等については、在庫拠点で保有する在庫を少なくする。
ウ．需要変動が大きく、需要予測が困難なキャラクター製品等については、消費地の在庫拠点に在庫を分散させる。
エ．ＯＡ機器のサービスパーツ等については、自社在庫拠点内の在庫を消費した分を、都度補充方式で補充する。
オ．小売店頭における定番商品のように品切れを避けるべき商品在庫は、定期定量方式にて補充する。

禁転載複製

問題22　需要予測に関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。

ア．需要変動の要素のうち、ある１品目の直近の需要変動を予測するのに有効なのは、政府の政策に連動した景気変動の動向である。
イ．需要予測の方法のうち最も精度が高いのは、販売計画や生産計画を積み上げる方法である。
ウ．需要の実績を需要予測に利用する際、相関分析によってデータの変動曲線をなだらかにすると、需要動向を把握しやすい。
エ．市販されている需要予測のパッケージソフトは、どれでも自社製品・商品の販売に適用できる。
オ．全品目の予測と実需要を監視すると管理の手間が膨大となる場合は、在庫の正常値範囲を決め、異常値管理を行うとよい。

問題23　パレート（ＡＢＣ）分析の活用方法として最も不適切なものは、次のうちどれか。

ア．倉庫内における要員配置の決定
イ．倉庫内における保管場所の決定
ウ．在庫処分の対象品目の決定
エ．工場倉庫・配送センター間での保管アイテムの決定
オ．在庫管理方式の決定

問題24　物流センターの計画に関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。

ア．災害に備えるためには、物流センターを集約する必要がある。
イ．物流センターを集約する計画を行う場合、集約先は既存の施設から決定する。
ウ．インフレが想定される時代における新物流センターの物件の所有形態については、自社物件を選択すべきである。
エ．物流センターの規模は、直近の平均入出庫・保管物量実績で、必要なスペースを算出する。
オ．同一品目を保管する複数の物流センターが近隣にある場合に、その物流センターを集約すると、安全在庫量の削減につながる。

禁転載複製

問題25　国内輸送モードの選定に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

ア．長距離トラック輸送を鉄道輸送に切り替えることにより、CO_2の削減効果が見込まれる。
イ．大手の特別積合せ貨物運送事業者では、長距離トラック輸送から船舶輸送や鉄道輸送に切り替えることを運転者不足問題の一つの解決策と考え、実践しつつある。
ウ．長距離トラック輸送の一部区間をフェリー利用することにより、フェリー乗船中の時間をドライバーの休息期間に充てることができる。
エ．鉄道輸送は、貨物駅までの集配料金がかかるため、短距離輸送ではトラックより運賃が割安になる。
オ．輸送モード選定に当たっては、リードタイムとコストの観点が重要である。

問題26　製造業Ａ社は、自家倉庫での保管・入出庫業務、倉庫から顧客への輸配送（実運送）業務の全てをそれぞれ１ケース当たり○○円という業務の種類別のケース単価で契約する形で物流事業者Ｂ社に委託しており、Ａ社としてはＢ社への支払い費用のみを物流コストとして捉えている。この場合に、Ａ社、Ｂ社それぞれの立場から見た物流原価管理に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

ア．Ｂ社から見ると、輸配送をケース単価で契約していることから、物量が変動した場合でも限界利益は変動しない。
イ．Ａ社が物流コストとして捉えている物流原価は、直接原価計算に該当するものである。
ウ．Ａ社としては、Ｂ社への支払い費用だけでなく、物流関連の全ての支払い費用を集計することで、全部原価計算を導入することができる。
エ．Ａ社から見ると、自社の売上高物流コスト比率は、ケース単価の変動が生じない限り常に不変である。
オ．Ａ社から見ると、ケース単価での契約形態であることから、支払い費用の予算と実績に差異は発生しない。

問題27　荷主企業における物流予算の策定・管理に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

ア．来期が最終年度となる３ヵ年計画の売上目標を基に来期の物流予算を策定した。
イ．生産ラインのコンベヤをリプレースする計画があることから、新しいコンベヤの導入に伴う減価償却費等を来期の物流予算に加算した。
ウ．来期の予算策定を終えた後、今期末で契約期限の到来する倉庫会社と、保管単価を予算内に抑えるための保管効率の向上策の協議を開始した。
エ．製品の売れ行きが鈍り、保管数量が計画値を上回る見込みが生じたことから、長期滞留在庫を倉庫会社複数社に割り当てて買い取りさせることで、予算額の超過を回避した。
オ．複数の委託先から運賃引き上げ要請があったことから、期中ではあるが、輸送費の予算の見直しに着手した。

禁転載複製

問題28　物流ＡＢＣに関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

ア．アクティビティ・コストを把握すれば、物流コストが削減される。
イ．１つのアクティビティに要する作業時間を把握することで、作業効率化のヒントを見付けることができる。
ウ．物流ＡＢＣに基づいて顧客毎のコストを比較することで、どの顧客で採算がとれ、どの顧客で採算がとれていないかを把握できる。
エ．ピッキングに関連するアクティビティを、ピッキングそのものに掛かる時間とピッキングに付随する時間に分けて分析することで、ピッキングの問題点が分かる。
オ．物流ＡＢＣを導入することで、作業の効率性について、作業の量や時間から、コストも加味した管理が可能になる。

問題29　販売管理費（販売費及び一般管理費）として計上することが適切な棚卸資産減耗損は、次のうちどれか。

ア．製造時の品質不良により、廃棄した棚卸資産
イ．製造原価の低減の目的で大量に作ったために、売れ残ったものの評価損
ウ．倉庫１棟が火災になり、焼失した棚卸資産
エ．棚卸時に発覚した窃盗団による多額の在庫の盗難
オ．販売用サンプルとして取り分けておいた商品の廃棄

問題30　物流投資採算に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

ア．物流投資に限らず、投資した資金は、減価償却費と当期純利益によって回収されることになる。
イ．物流投資によって売上増大の効果も期待できる場合には、売上増大による利益増大に加えて売上増大による利益増大を加味した投資計画を立案することが望ましい。
ウ．投資回収の評価基準としては、「利益比較法（原価比較法）」「投資利益率法」「回収期間法」等がある。
エ．変化の激しい物流分野で、自動倉庫等の投資採算を計算する場合においては、法定償却年数や実用耐用年数より短い期間を回収期間に設定することが一般的である。
オ．キャッシュフローを良くするため、金融機関からの借入時の担保になるよう、自社所有の配送センターを建設する。

禁転載複製

問題31　バーコード（１次元シンボル）の活用方法や利用上の留意点として不適切なものは、次のうちどれか。

ア．商品コードと納入先コードの両方を読み取ることにより、出荷ミスを防止している場合がある。
イ．１次元シンボルである Code39 と Code128 は英字（大文字）が記録できる。
ウ．ＧＴＩＮ-14において、先頭に付与されている１桁目のコードは、入り数である。
エ．通信販売の返品処理において、出荷時に返品管理用バーコードを印字した返品用送り状を同封しておくと、取替え・返金の対応に有効である。
オ．バーコードの印字に当たっては、印字サイズ、紙質、インク等に留意する。

問題32　企業間の情報交換に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

ア．内閣府は、国内の物流企業、メーカー、小売業等の既存データに加え、公的情報データまでを利用可能とする「物流ＥＤＩ」の構築を行った。
イ．企業ポータルでは、必要な各種情報交換、注文情報の照会、納期確認などが行える。
ウ．企業間の情報交換の例として「求車求貨システム」は、輸配送業務の効率化や環境負荷の軽減に寄与している。
エ．企業間取引に関する各種業務の効率化や入力ミスの削減のため、情報交換にはＥＤＩの利用が望まれる。
オ．流通ＢＭＳは、国際標準に準拠している。

問題33　ロジスティクス情報システムの開発と運用のポイントとして不適切なものは、次のうちどれか。

ア．物流センター内作業の「可視化」では、ＷＭＳ上の処理データに加え、物流現場での作業時間やコストに関するデータを用いて、評価指標を作成する。
イ．トラックの「追跡化」では、ＴＭＳによる運行データに、ＧＰＳとの連動による位置情報を組み合わせて使用する。
ウ．業務処理の「即時化」では、インターネットを利用したＷｅｂ上において、リアルタイムに状況把握や指示を行う。
エ．物流センター内作業の「自動化」では、生産性向上や作業精度向上のために、自動仕分け機やデジタル表示器を導入する。
オ．クラウド・コンピューティングであるＳａａＳを利用する場合、ソフトウェアの保守管理は、利用者が行う。

禁転載複製

問題34　自動発注処理システムに関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

ア．毎日発注して当日入荷する商品及び発注量や発注間隔が安定している商品は、自動発注処理システムに向かない商品である。
イ．自動発注処理システムでは、自動化されたシステムへの条件入力により、適正な発注量を計算できることから、入力データの正確性は重要視されない。
ウ．不定期定量発注による自動発注処理システムは、在庫が補充点（発注点）に近づいたときに発注を行うものである。
エ．発注側と受注側との協働による自動発注処理システム（ＣＰＦＲ）は、在庫や販促計画等のデータに基づき、自動的に発注するものである。
オ．ピークを過ぎて取引量が減少している商品や、発売当初の新商品は、自動発注処理システムに適している。

問題35　在庫管理システムに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

ア．受注情報の引当処理や出庫指示情報の作成は、在庫管理システムの重要な機能である。
イ．在庫管理システムは、各種情報システムと連携して、機会損失を避け、調達コストの増加を抑えながら、適正在庫を維持する形で運用される。
ウ．単品管理の精度向上は、顧客サービスの向上、物流コストの削減、売上げ・利益の増大につながる。
エ．引当処理のためには、実在庫だけではなく、返品を加えた引当可能在庫の把握が重要である。
オ．在庫管理では、ＳＫＵ別の在庫数のみならず、在庫受払情報と実棚情報に、汚破損、賞味期限切れ、返品未処理などの管理も必要である。

問題36　倉庫管理システム（ＷＭＳ）の役割、機能に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

ア．ＷＭＳの仕様は、取扱う品物やその形状、取扱量や倉庫内での作業内容などによって決定される。
イ．倉庫内で採用される自動化機器がある場合は、ＷＭＳと自動化機器の制御システムとのＡＰＩ（Application Programming Interface）連携も重要である。
ウ．ＥＯＳ（電子発注システム）からの受注やＡＳＮ（事前出荷案内）の送付などは、ＷＭＳの機能の一部となっている場合もある。
エ．クロスドックを行う物流センターでは、ＷＭＳによる在庫管理や作業管理機能は不要である。
オ．食品等における製造ロットや賞味期限等は、同一届け先へのロット割れや異なる賞味期限等の出荷が行われないよう、ＷＭＳ内での管理が必要である。

禁転載複製

問題37　輸配送管理システム（ＴＭＳ）に関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。

ア．配送センターの立地計画や輸配送モードの選定には、配車計画システムは利用できない。
イ．運転状況を車載端末に記録し、必要な時にインターネット経由等で伝送して運転情報を把握・分析し、運転管理や顧客への出荷情報提供等に活かすことができる。
ウ．当日の配送先が分かれば、地理情報システムを活用して配送順が設定できる。
エ．出荷後も道路状況をリアルタイムに情報収集し、天候や事故による渋滞状況等に応じて配送先の変更を常時行い、適切に対応する。
オ．災害等でデジタル地図情報どおりに通行ができない場合であっても、配送ルートを変更すべきではない。

問題38　日本からの貨物の輸出に関連する書類の説明として不適切なものは、次のうちどれか。

ア．日本の税関に輸出申告する場合、インボイスは通常英語で記載し、日本語は認められない。
イ．船荷証券（Bill of Lading）と航空運送状（Air Waybill）は、いずれも有価証券の効力を持つ。
ウ．原産地証明書は、輸入者が必要とする場合には、輸出者が作成しなければならない。
エ．船荷証券の作成に必要な情報（ＡＣＬ情報）を送信する場合は、ドックレシートを不要とする船会社もある。
オ．船積指図書は、輸出者が通関業者に通関を委託するために使われる。

問題39　国際物流に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

ア．ＮＥＡＬ－ＮＥＴは、荷主や物流事業者が日本、中国、韓国の３カ国の主要港及び空港における貨物のステータス情報をタイムリーかつ効率的に把握できるようにするための仕組みである。
イ．Ｃ－ＴＰＡＴは、テロ対策のため、輸出国から米国に至るサプライチェーン全体をより効果的に保護することを目的に、米国当局が導入したプログラムである。
ウ．ＡＥＯによる相互承認制度は、その制度のある二国間で、相互にＡＥＯ事業者を承認する制度である。
エ．シンガポールでは、輸出入、積み替えにかかわる申告、許可、関税・諸税・手数料の支払いを自動的に処理することができるネットワークド・トレード・プラットホーム（ＮＴＰ）を導入している。
オ．Cyber Portは、民間事業者間の港湾物流手続を電子化することで業務を効率化し、港湾物流全体の生産性向上を図ることを目的としたプラットフォームである。

禁転載複製

問題40　貿易手続きのデジタル化に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

ア．日本では、船荷証券をデジタル化した電子船荷証券（ｅＢＬ）が法制度化された。
イ．ＮＡＣＣＳを利用した通関手続きでは、インボイス、運送状、保険料明細書等の通関関係書類をＰＤＦ等の電磁的記録で提出することが可能である。
ウ．経済財政運営と改革の基本方針2025（骨太の方針）では、2028年度までに貿易プラットフォームを通じてデジタル化された貿易取引の割合を10％へ引き上げることを目指している。
エ．日本では、2020年に情報通信会社、商社、銀行、保険会社、物流事業者等により貿易プラットフォームであるTrade Waltzが設立された。
オ．海外には、海上輸送分野を中心としたＧＳＢＮ（Global Shipping Business Network）等の貿易プラットフォームがある。